

## 目標7 生涯にわたる男女の健康支援

**《目指すまちの姿》**  
 男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【1】 男女の性をともに理解・尊重する意識の浸透
------	--------------------------

施策の内容	発達段階に応じて、児童、生徒が性に関する正しい知識と、自ら考え判断する能力を身につけられるよう、人権尊重の精神に基づく性教育を推進します。
-------	-----------------------------------------------------------------------

107		数値目標						目標値
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	R元	R2	
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校における性教育の年間計画を策定し、様々な教科や学級活動と関連づけ指導をしていくとともに、教育活動全体を通して継続して性教育を実施できるように指導していく。</li> <li>6月の丸亀市人権同和教育主任研修会において、LGBTに関する研修を行う。</li> </ul>							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長会や教頭会を通じて、最新の情報提供を行ったり、LGBTに関して教材化したりする。そのことにより、児童・生徒が性に関して正しく理解したり、判断したりできるように指導する。性教育が継続的な活動になるための時間を確保できる環境づくりを行うように指導する。</li> </ul>							
R元事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校の年間計画の中に、性に関する教育を位置付け、様々な教科や学級活動など教育活動全般において指導するように周知した。</li> </ul>							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の実態や発達段階に応じて性教育を実施することにより、男女の性の特徴や違いを理解・尊重する意識を育成することに繋がった。</li> </ul>							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>性教育を実施することで、理解は高まってきたが、浸透していくところまで至っていないので、細かく対応していく必要がある。</li> </ul>							

## 目標7 生涯にわたる男女の健康支援

### 《目指すまちの姿》

男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【1】 男女の性をともに理解・尊重する意識の浸透
------	--------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
学校教育課長	B⇒ B	各校の年間学習指導計画の中に性に関する教育を位置付け、教育活動全般において指導するように周知することで、男女の性の特徴や違いを理解・尊重する意識を育成することに繋がった。また丸亀市人権・同和教育主任研修会において、LGBTに関する研修を行うことで、教職員の認識が高まり、具体的な授業を実践する体制が整ってきた。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

## 目標7 生涯にわたる男女の健康支援

**《目指すまちの姿》**  
 男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【2】 男女の心とからだの健康保持・増進対策の推進
------	---------------------------

施策の内容	男女が、ライフステージに応じて主体的に健康づくりに取り組むための支援を行います。
-------	------------------------------------------

108		数値目標						目標値
担当課	健康課		現状値	H29	H30	R元	R2	
R元事業計画	コミュニティと連携した健康づくりの啓発活動と事業の実施。 ・コミュニティや地区組織に、健幸の日・健幸10か条（2、9、10か条）の普及啓発。 男女の様々な不安やストレスを軽減させるための相談事業の実施。							
R元事業計画に関する具体的な目標	・コミュニティ誌、広報丸亀、健康だより等に「健幸の日」、「健幸10か条」の掲載を行う。							
R元事業実績	・健幸の日や健幸10か条の啓発のため、毎月、広報丸亀や、コミュニティ誌、健康だより等に「健幸の日」、「健幸10か条」を紹介し健康づくりのきっかけづくりを行った。 また、コミュニティ組織の総会やと組織と連携した健康講座で周知啓発を行った。 ・各地区コミュニティセンターで健康相談を実施した。（年210回 2,343人）							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	機会あるごとに周知啓発することで認知度も上がっている。なお、コミュニティ組織や市民グループと連携することで広がりやすくなっている。地域の身近に相談できる場所があることで、誰でも気軽に利用しやすい相談場所になっている。							
事業の実施状況を踏まえた課題	コミュニティ組織に属さない若い層への健康へのきっかけづくりを行うことが必要である。							

施策の内容	男女それぞれに特有な病気について、がん検診などの各種健康診査や特定健診などの受診促進を行い、がんの早期発見、早期治療を促進します。								
109	数値目標	《指標》①乳がん検診受診率                      ②子宮がん検診受診率 ③前立腺がん検診受診率							
		※測定方法の変更により、現状値をH27からH28に変更。変更内容:H27測定方法は、国から示された人口(社保等加入者を除くよう計算した数字)を母数とする。H28測定方法は、国から示される人口がなくなったため、4月1日の住民基本台帳搭載人口を母数とする。(目標値は変更なし)							
		担当課	健康課	H28	H29	H30	R元	R2	R3
			①16.2% ②14.6% ③13.8%	①15.7% ②14.4% ③13.6%	①15.5% ②14.4% ③13.6%	①15.2% ②14.4% ③13.5%			①50.0% ②50.0% ③50.0%
R元事業計画	がん検診受診率向上に向けた広報や啓発。 ・9月のガン征圧月間等に、広報丸亀に乳がん検診の特集記事を掲載。 ・あらゆる機会を捉え、受診勧奨を行う。 ・21歳(子宮がん)・41歳(乳がん)の対象者に無料クーポンを送付し、受診勧奨する。 ・働く世代へのアプローチとして、協会けんぽとの協定による包括的な連携の実施。								
R元事業計画に関する具体的な目標	・広報丸亀9月号にガン征圧月間の特集記事を掲載する。 ・コミュニティ総会や地区組織に対し、健診受診の大切さ等の健康教育を行う。								
R元事業実績	・健康だより6月号や広報6月号にがん検診受診啓発の記事を掲載した。 ・コミュニティ総会や地区組織に対し、健診受診の大切さ等の健康教育を行った。(年99回 3,333人) ・協会けんぽの扶養者の特定健診に合わせ、同日に乳がん・子宮がん検診を実施した。								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	協会けんぽと協働したがん検診の同時実施では、40歳代・50歳代の受診が68%を占めていた。また、乳がんの初回受診率が81.4%、子宮がんの初回受診率は75%と高く、協会けんぽと連携することで、働く世代にアプローチできた。								
事業の実施状況を踏まえた課題	若い世代の受診率向上のため、今後も協会けんぽと連携していく。また、早期発見のための受診勧奨と併せて、乳がん自己触診法の啓発を機会あるごとに啓発していくことが重要である。								

## 目標7 生涯にわたる男女の健康支援

### 《目指すまちの姿》

男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【2】 男女の心とからだの健康保持・増進対策の推進
------	---------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
健康課長	B⇒ B	「毎月10日は健幸の日」と制定し、健康10か条の推進をあらゆる機会を通して周知啓発していることで、男女が、ライフステージに応じて、主体的に健康づくりに取り組むためのきっかけとなっていると考える。がん検診などの受診促進については、市民会議グループや関係機関と協働しながら実施している。今後も男女が共に健康な生活を送れるように、啓発活動を続けていく必要がある。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

## 目標7 生涯にわたる男女の健康支援

**《目指すまちの姿》**  
 男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【3】	女性の生涯にわたる健康保持・増進対策の推進
------	-----	-----------------------

施策の内容	思春期から更年期まで、生涯を通じて大きく変化する女性の健康について女性自身が的確に自己管理できるよう支援します。
-------	----------------------------------------------------------

110		数値目標						目標値
担当課	健康課		現状値	H29	H30	R元	R2	
R元事業計画	女性の健康に関する正しい知識の普及・啓発。 ・たばこの健康被害、受動喫煙防止について取り組む。 ・企業と連携し、女性の健康づくりに取り組む。							
R元事業計画に関する具体的な目標	・若い世代の喫煙率の減少に向け、スモーカーライザー等を活用し啓発していく。 ・大塚製薬株式会社と女性の健康づくりの啓発に取り組んでいく。							
R元事業実績	・妊娠届出面接時にたばこの健康被害について説明し正しい知識の普及及び受動喫煙防止の啓発を行った。 ・若い世代への啓発として、地域の祭りでスモーカーライザー等を活用し、たばこの害についての啓発を行った。(参加者78人) ・大塚製薬株式会社と連携し地域で健康づくりの講座を開催した。(年4回)							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	窓口や地域、イベント等で幅広い年代層に、心と体の変化や健康を保つための生活習慣について正しい知識の提供ができた。、							
事業の実施状況を踏まえた課題	引き続き、講演会やイベント等を通じ幅広い年代層に情報提供をしていきたい。特に若い世代への働きかけとして、企業との連携が重要である。							

施策の内容	地域において安心して安全に子どもを産み育てることができるよう、妊娠、出産、子育てにわたり切れ目なく支援を行います。							
	111	数値目標						
担当課	健康課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健推進員、愛育班、市民会議メンバー等と連携し、「乳幼児期からのお口のマッサージ」の普及啓発に取り組む。</li> <li>妊娠・出産・子育て期における相談体制を充実させる。</li> </ul>							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診や健康相談等、機会ある毎に「お口のマッサージ」の普及啓発を行う。</li> <li>助産師、保育士、歯科衛生士等の他職種や地区組織と連携しながら事業を展開する。</li> </ul>							
R元事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>「お口のマッサージ」を機会を捉えて普及啓発を行った。 実施状況：各地区での子育て広場 延べ 1,695人/70回 毎月実施している3か月児健診時、受診者へ集団健康教育を実施</li> <li>妊娠期から切れ目のない母子保健対策の推進においては、より良い支援とするために保健事業実施前後の打ち合わせや健診でのカンファレンスなど機会を捉えて助産師、保育士、歯科衛生士等の他職種や地区組織と連携しながら事業を実施した。特に個別支援においては、新生児訪問などでの助産師や医療機関、他課や関係機関との連携を随時図った。</li> </ul>							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>経年的に実施している「お口のマッサージ」の普及啓発は、乳児期からの子の歯予防について保護者に動機付け習慣化して実施できるだけでなく、保護者が積極的に児にスキンシップを図ることができ、今後の児の愛着形成にも意義があると考えます。</li> <li>妊娠期からの切れ目なく支援を行うために、今後も関係機関や母子保健推進員、愛育班などの地区組織と連携体制の充実を図る必要がある。</li> </ul>							
事業の実施状況を踏まえた課題	母子保健を取り巻く市の実状や課題を捉えて、重点的な取り組みなどを関係機関や地区組織などと今後も情報共有し、より効果的に展開できるよう支援体制を構築していく必要があると考える。							

## 目標7 生涯にわたる男女の健康支援

### 《目指すまちの姿》

男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【3】 女性の生涯にわたる健康保持・増進対策の推進
------	---------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
健康課長	B⇒ B	女性の健康に関する正しい知識の普及・啓発において、受動喫煙を中心に生活習慣の改善に取り組み、若い世代に対しても積極的に行った。 また、企業との連携においても、女性の健康づくりに視点をおく取り組みをおこなったことは成果があったと考え、今後も積極的に取り組んでいく必要がある。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。